

組立説明書 プロポーションチェア / キッズ 品番：CH-889CK

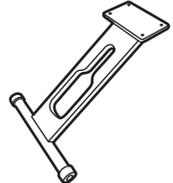
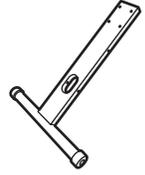
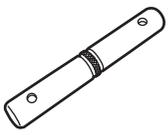
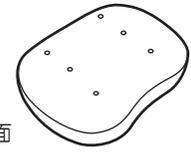
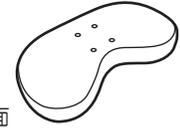
この度は、当商品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
正しく安全にご使用頂く為に、この説明書をよくお読み頂いた上で、組立てご使用ください。
また、いつでもご覧いただける様に大切に保管して頂きますようお願い致します。

<取り扱い上の注意>

- ◎傾斜または凸凹した床面は避け、水平でしっかりとした床面でご使用ください。
- ◎踏み台がわりにのったり、重いものをのせる等、椅子としての用途以外には使用しないでください。
- ◎同時に2人以上で使用しないで下さい。
- ◎組立て式ですので、使用中に各部のネジのゆるみが発生する可能性があります。
ゆるんだままでの使用を続けると、重大な事故につながる恐れがありますので、定期的にネジのゆるみがないか、安全にお使い頂くための点検をお願い致します。
- ◎表面の汚れは、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤で汚れをおとし、乾いた布でよく拭きとってください。
シンナーやベンジン等は商品の表面を傷めますので使用しないでください。
- ◎高温多湿な場所や、直射日光が当たる場所での使用は、商品が劣化する恐れがありますので避けてください。
- ◎タバコ・ライター・ストーブ等、火気は近づけないで下さい。
- ◎畳・フローリングの部屋でご使用の場合は、マットやカーペット等を敷いてご使用下さい。
畳・フローリングを傷つけるおそれがあります。
- ◎商品は開封直後まれに、臭いが気になる場合がありますが、その時は一日風通しのよい場所で陰干しして下さい。
- ◎成長期のお子様を使用される場合は、数ヶ月に一度、身長に合う適性な位置で使用できているかご確認ください。

部品一覧

- 組立て前に部品が全て揃っているかご確認ください。
- 組立ての際は、床に傷が付かないように布等を敷き、その上で作業を行ってください。

<p>① 脚フレーム（前）</p>  <p>1</p>	<p>② 脚フレーム（後）</p>  <p>1</p>	<p>③ 昇降器 （木カバー付き）</p>  <p>1</p>
<p>④ 座面クッション</p>  <p>裏面 1</p>	<p>⑤ 膝クッション</p>  <p>裏面 1</p>	<p>⑥ 補助クッション</p>  <p>裏面 1</p> <p>面ファスナー</p>
<p>⑦ 固定用パイプ（長）</p>  <p>両側に⑫ボルト（短） がついています 2</p>	<p>⑧ 固定用パイプ（短）</p>  <p>両側に⑫ボルト（短） がついています 1</p>	<p>⑨ 六角レンチ</p>  <p>2</p>
<p>⑩ ボルト（長）</p>  <p>4</p>	<p>⑪ ボルト（中）</p>  <p>4</p>	<p>⑫ ボルト（短） ※予備</p>  <p>1</p>
<p>⑬ ワッシャー</p>  <p>9 （※予備 1 個）</p>	<p>⑭ スプリングワッシャー</p>  <p>15 （※予備 1 個）</p>	

正しい座り方

座面クッションの中央にお尻が乗るように座り、膝クッションで、膝を支えて座る事により背筋を伸ばす効果があります。



膝クッションに、足の裏を乗せて座ると猫背の状態になり背筋を伸ばす効果がありません。又、転倒する恐れがありますのでお止めください。



安全上の注意

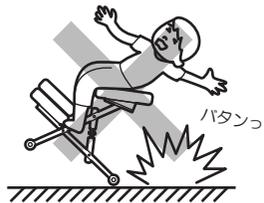
製品の上に立ち上がらないでください。



使用中にギシギシと体を左右にゆすったり、座面の片側に偏ってすわらないでください。



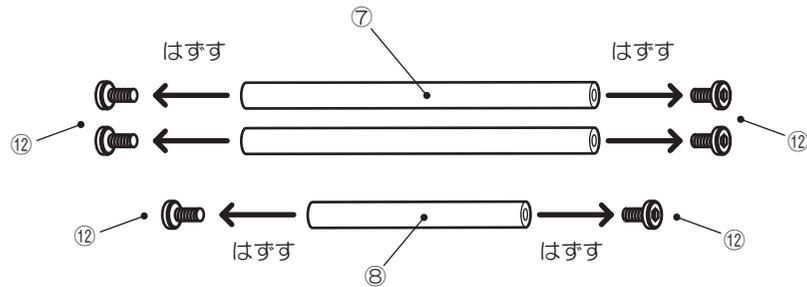
後方に体を大きく反らすとバランスを崩して転倒する恐れがありますので絶対にしないでください。



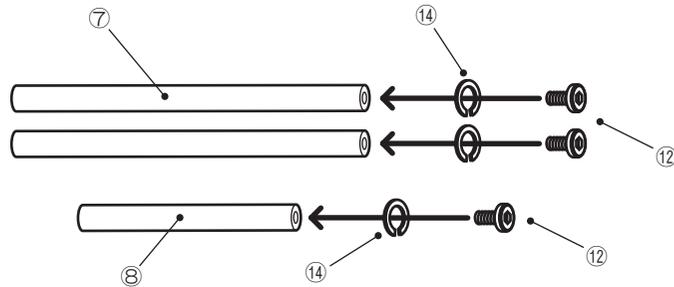
組立手順

※各部のボルトを取り付ける際、まずはゆるく仮締めの状態にして組立て、完成後に全てのボルトをしっかりと締め付けてください。

- 1** ⑦ 固定用パイプ（長）2本と、⑧ 固定用パイプ（短）1本の両側に、あらかじめ取り付けられている⑫ ボルト（短）を、一旦全てはずします。

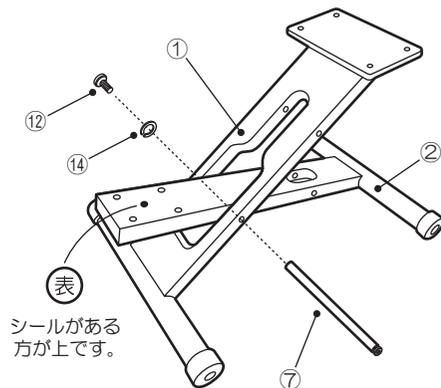


- 2** ⑦ 固定用パイプ（長）2本と、⑧ 固定用パイプ（短）1本の「片側」に、⑭ スプリングワッシャーをはさみ、工程①ではずした⑫ ボルト（短）をねじ込みます。

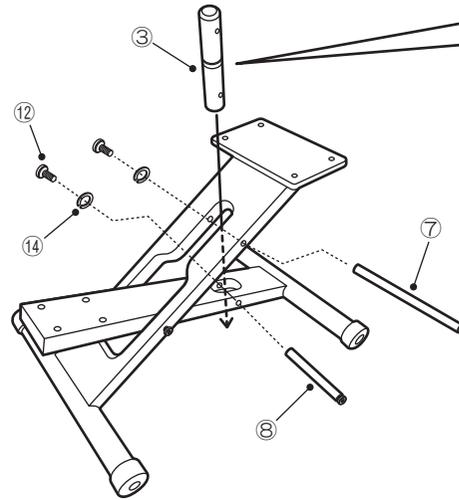


- 3** ※この工程は脚フレームが不安定な状態となりますので、手をはさんで怪我をしないように、十分注意しながら組立て作業を行ってください。

- ① 脚フレーム（前）の中央の穴に、
- ② 脚フレーム（後）を交差するようにして差込みます。
- ※(表)のシールがある方が上です。
- 交差する①②の脚フレームの穴位置を合わせて⑦ 固定ボルト（長）を差込んで取り付けます。
- ⑭ スプリングワッシャーをはさみ、⑫ ボルト（短）で仮締めします。



- 4** 右図を参考に③ 昇降器の上下に注意して、脚フレームに差込み、⑦ 固定用パイプ（長）と、⑧ 固定用パイプ（短）を取り付けます。
- ※昇降器の本体と木カバーの穴位置がずれている場合は右図の説明を参考に穴位置を合わせてください。
- ⑭ スプリングワッシャーをはさみ⑫ ボルト（短）で仮締めします。



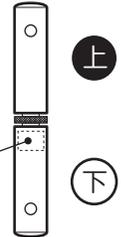
昇降器の取り付けに関して

③ 昇降器は注意シールの文字の向きをご確認ください。

注意シール

右 ↑ 上がります
左 ↓ 下がります

広げ幅の目安は約10cmまでです。

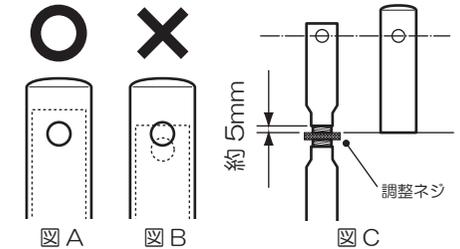


③ 昇降器の本体と木カバーの穴位置を、※ 図Aのように合わせます。

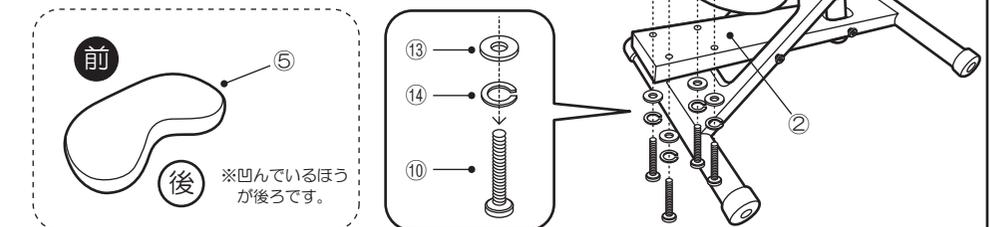
※ 図Bのように穴位置がずれていると取り付けができません。

穴位置が合わない場合は、本体の調整ネジを回して、穴位置の高さを調整してください。

※ 図Cのように約5mm程度の隙間に調整すると、穴位置が合います。

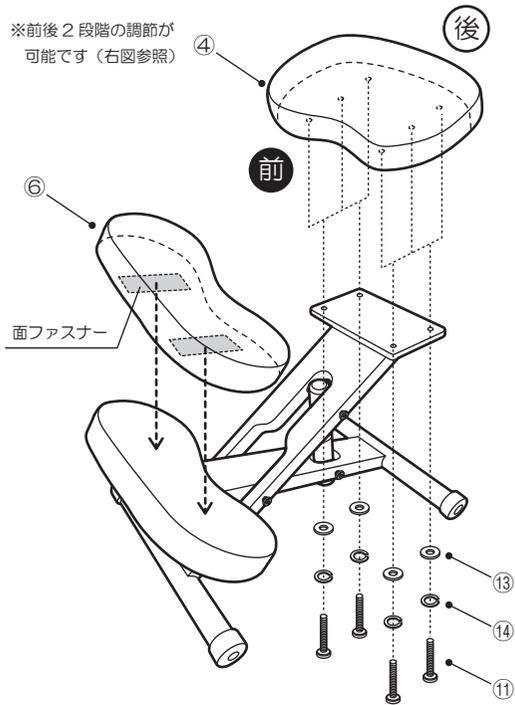


- 5** ⑤ 膝クッションの前後に注意し、裏面の穴位置と② 脚フレーム（後）の穴位置をあわせて、⑩ ボルト（長）、⑭ スプリングワッシャー、⑬ ワッシャーで仮締めして取り付けます。



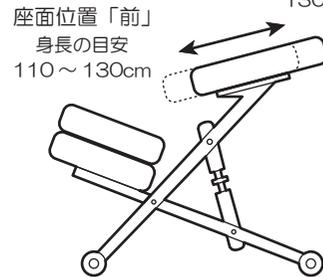
6

- ④ 座面クッションの前後に注意し、裏面の穴位置にあわせて、⑪ ボルト（中）、⑭ スプリングワッシャー、⑬ ワッシャーで、仮締めして取り付けます。
※座面クッションは、前後2段階の調節が可能です。
ご使用される方の身長にあわせて調節してください。
- ⑥ 補助クッションをご使用の際は、裏面の「面ファスナー」を、⑤ 膝クッションに取り付けてください。
※補助クッションは完全に固定されていませんので、ご使用中にずれることがあります。特に、座る時や立ち上がる時等に、偏って膝部に体重をかけすぎるとずれやすくなりますので、ご注意ください。
※ずれたままのご使用は大変危険ですので、定期的を確認してください。
※ずれやすく感じた場合は、補助クッションの裏面の「面ファスナー」にほこりや糸くずが付着していないか確認してください。
ほこりや糸くずが付着していると、面ファスナーの効きが弱くなる事があります。
- 仮締めしていた全てのボルトを、⑨ 六角レンチを使用して締め付けてください。
※固定用パイプのボルトを締め付ける際は、両側から六角レンチを差し込んで締め付けてください。

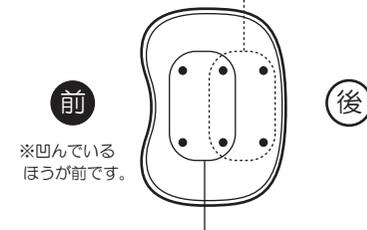


座面位置の調節に関して

座面位置「後」
身長目安
130cm ~



座面位置を「前」にしたい時に使用する穴位置



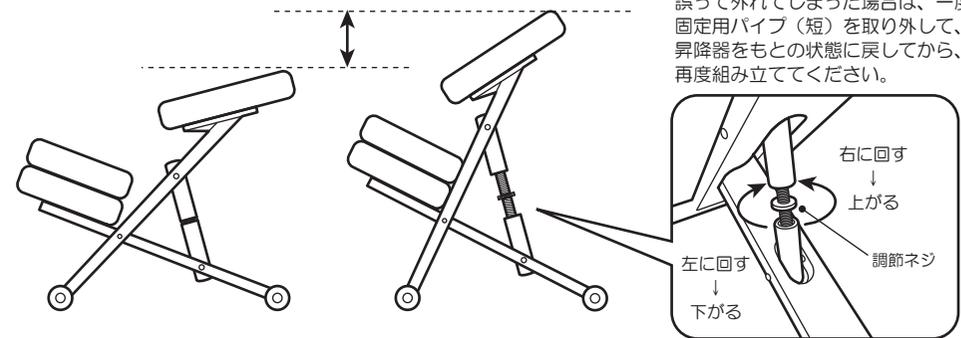
※凹んでいる
ほうが前です。

座面位置を「後」にしたい時に使用する穴位置

ご使用方法

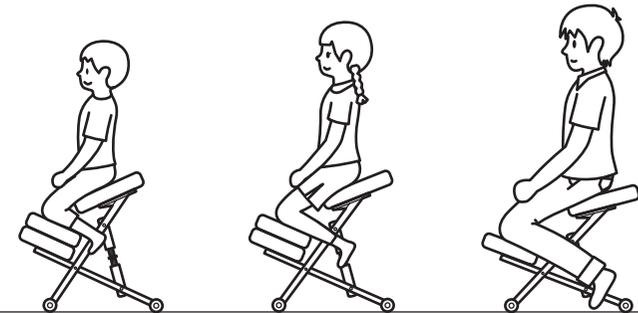
●座面の高さ・角度の調節

昇降器の調節ネジをまわす事によって、座面の高さ調節が可能です。



※昇降器の調節ネジを回して座面を上げすぎるとネジ部が外れる恐れがあり大変危険ですので注意しながら調節してください。
誤って外れてしまった場合は、一度固定用パイプ（短）を取り外して、昇降器をもとの状態に戻してから、再度組み立ててください。

座面クッションの中央にお尻が乗るように座り、膝が膝クッションに届く位置に調節してください。膝が届かない場合は補助クッションをご使用ください。身長が高くなるにつれて補助クッションは不要となります。
※身長が110cmに満たないお子様は、膝がクッションに届かない場合がありますのでご使用いただけません。



身長目安	110 ~ 130cm	130 ~ 140cm	140 ~ 180cm
補助クッション	使用する	使用する	使用しない
座面位置	前	後	後

※身長は目安で個人差があります。

品質表示



完成図

<寸法>
幅 48.5× 奥行 61 ~ 68× 高さ 43 ~ 64cm

<構造部材>
本体：天然木・合板
表面加工：ラッカー塗装
張り材：ポリエステル
クッション材：ウレタン

表示者
株式会社 宮武製作所
大阪市東住吉区桑津 1-23-13

<適応身長目安>
110 ~ 180cm

<耐荷重>
80kg まで

MADE IN TAIWAN